

<報告レポート>

サマースクール 2014

園長・施設長・主任講座

京都会場（8/6）、東京会場（8/20）で開催されました、「園長・施設長・主任講座」は無事に全日程を終了いたしました。

両会場ともに定員を超える皆様にお越し頂きました。

たくさんのご参加をありがとうございました。

【京都会場】8/6 リーガロイヤルホテル京都



《本講座プログラム①》

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」から考える今後の園の在り方について

馬場 耕一郎（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課 保育指導専門官）

本年の園長・施設長・主任講座（サマースクール2014）は、厚生労働省の保育専門官・馬場耕一郎先生の講演から始まりました。子ども・子育て支援新制度のスタート等に備えて、まず忘れてはいけない社会保障制度改革の全体像について、これからの少子高齢化がどのように進んでいくか、財源をどのように確保していくのか、などの解説をいただきました。



さらに、先日発表された「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」について、その構成やポイントなどを詳しくご説明いただきました。

馬場専門官は、元は大阪府内の保育園の園長先生をされていたこともあり、現場の状況を熟知したうえで、時にはユーモアも交えながら、分かりやすく法令や政策等の解説をいただきました。

《本講座プログラム②》

秩序問題とコーディネーション問題

～思いやりの心が園内コミュニケーションを育む～

鈴木 一光（一般財団法人 児童健全育成推進財団 理事長）

児童健全育成推進財団理事長・鈴木先生による、組織を動かすためのリーダーのあり方についての講演です。リーダーシップを発揮するために必要な「自己・他者・組織」の3つの視点を正しく把握すること、そして、互いに‘素養’や‘しぐさ’を高めていくことが、人と人との関係性を良好にしていくコツであると感じさせられた講演でした。



《本講座プログラム③》

園経営に必要な「マネジメント能力」とは？

矢藤 誠慈郎（岡崎女子大学 子ども教育学部教授・学部長／

幼保連携型認定こども園保育要領の策定に関する合同の検討会議 委員）

最後の講座は、岡崎女子大学の矢藤先生による、園を運営していくために管理職に必要とされる「マネジメント能力」についてのご講演です。園の保育をより良くしていくための園内研修において大切にしたいポイントや、互いに高め合っていくような環境づくりをするためのヒント、さらには、若い保育者たちを育てていくために大切な管理職としての接し方・心構えなど、実際に様々な園で指導をされたり、学生たちの指導の中での経験談を交えながらお話しをしていただきました。



【東京会場】 8/20 ステーションコンファレンス池袋



《本講座プログラム①》

園と家庭の架け橋を“食卓”で！

～保育所等を拠点とした食育～

米倉 礼子（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 栄養専門官）

厚生労働省・栄養専門官の米倉礼子先生のご講演は、少子高齢化問題や子育て支援に関する現在の状況から、新たな「子ども・子育て支援制度」の展望をふまえて、子どもの健康や食の事情、食育の推進等について詳しくお話をいただきました。子どもたちの食をより豊かにするために、そして食育がもっと浸透していくために、幼稚園・保育所等ではどのような取り組みができるのか？など、参加者の皆様の意見も取り上げながら解説していただきました。



《本講座プログラム②》

幼児一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援のあり方とは？

～今後の特別支援教育の動向を踏まえて～

小枝 達也（鳥取大学 地域学部教授／医学博士／

幼保連携型認定こども園保育要領の策定に関する合同の検討会議 委員）

鳥取大学教授で、小児科医である小枝達也先生からは、日常の遊びの中での「気になる子」の見極め方や、その対応の仕方、その保護者との関わり方などについてお話をいただきました。さらには子どもが小学校・中学校と成長していく過程を見通した時に、幼児期から対処することの重要性についても話ししていただき、保・幼・小の連携の大切さを改めて感じさせられる内容でした。



《本講座プログラム③》

脳とことば ～脳を育てる言葉の秘密～

黒川 伊保子（株式会社感性リサーチ 代表取締役社長／

感性アナリスト／随筆家）

最後の講演は、感性アナリストの黒川伊保子先生による「脳とことば」についてです。脳の発達とことばとの関係性において、語りかけや絵本の読み聞かせなどの保護者（特に母親）や保育者等による配慮がどれほど大切であるかについて、脳科学の研究者としての視点から解説していただきました。また、「男性脳」と「女性脳」では大きな違いがあり、男（親）の役割どころ、女（親）の役割どころがあることなどのお話しもいただきました。職場における生活のみならず私生活でも役立つ内容が満載の講演でした。

